

第3 回J R バス関東本部政策フォーラム開催

～全5ブロック7機関から提言～

大震災の教訓を活かして、安全な職場を創造しよう

バス関東本部は12月9日（月）、中央本部大会議室において第3回政策フォーラムを開催しました。フォーラムには組合員80名と田城参議院議員を含む多くのご来賓の皆さんにお越し頂き、熱のこもった討論が展開されました。

第1セッションのテーマは「安全・健康・ゆとり・働きがいのある職場を目指して」4機関から提言され「バス専用道・白棚線の将来展望」「清原・芳賀地区の需要創出」「八日市場支店の新たな挑戦」「常磐線東京駅乗り入れ対策・高齢化する乗務員のあり方」が提言され、高齢化するバス乗務員の雇用の場をどのようにつくり、地域に貢献できる公共交通機関を確立するのかを討論しました。



第2セッションは「大震災の教訓を活かす～命を守る防災活動～」をテーマとして3機関から「バスターミナルの具体的な防災対策」「無線通信の多角的利用について」「JRバス最大拠点・東京支店の避難経路確保」が提言されました。現在、バス東京分会で取り組んでいる首都圏直下型地震発生時に組合員と共同運行会社社員の命を守るための避難経路確保に向けた踏査活動を全組合員で展開している報告や、東京・新宿駅に集中する帰宅困難者輸送や鉄道の代替輸送、そしてその際に最も有効な無線通信体制の確立に向けて労使で踏み込んだ議論が必要であるという活発な討論が繰り広げられました。



バス輸送の最大の任務は「安全」です。バス関東本部は組合員との議論で導き出した職場と生活と雇用を守る提言や、大震災の教訓から公共交通機関に従事する労働者として組合員とお客様の命を守ること、そして職場を守る提言を対置し、組合員と家族の幸せを実現するために、提言実現に向けて職場から挑戦を続けていきます。

★第1セッション

テーマ 職場の発信で未来を創造する

～安全・健康・ゆとり・働きがいのある職場を目指して～

- ☆発表 水戸ブロック（バス棚倉）
「バス専用道・白棚線の現状と将来展望」
- ☆発表 大宮ブロック（バス佐野・バス古河・バス宇都宮・バス西那須野）
「清原・芳賀地区の需要創出を目指して」
- ☆発表 千葉ブロック（バス八日市場・バス館山）
「八日市場支店の新たな挑戦」
- ☆発表 水戸ブロック（バス常磐・バス水戸・バス土浦）
「雇用不安のない職場の確立に向けて」



★第2セッション

テーマ 大震災の教訓を活かす ～命を守る防災活動～

- ☆発表 東京ブロック（バスセンター）
「東京駅バスターミナルの具体的な防災対策へ向けて」
- ☆発表 長野ブロック（バス伊那・バス下諏訪・バス小諸・バス長野原）
「無線通信の多角的な利用について」
- ☆発表 東京ブロック（バス東京）
「JRバス最大拠点・東京支店の緊急時における避難経路の確保」

